

詩画家 森田MiW × タオルメーカー 楠橋紋織のコラボブランド!  
MiWさんのちょっと不思議であったかな絵が  
タオルやハンカチ、くらしのアクセントになるモノタチに映しだされます。  
毎日がもっとオシャレにハッピーに。しあわせの時間が流れます。

3重  
ガーゼ  
ハンカチ

ふと気がつくときとゆっくりとした世界が広がります。  
不思議な植物や日常と生き物たち。  
ワンポイント刺しゅうが抱きしめたいくらい、いとおいしい。  
ふわりと軽い3重ガーゼです。

3重ガーゼハンカチ 綿100%  
[サイズ] 約25cm×25cm 各770円(消費税込)  
Designed by Kusubashi Mon-ori in Japan, Made in China.

『花とクマンバチ』

あちらの花へプブ。  
こちらの花へプブ。  
羽のあるコロコロちいさなクマの仔は  
きっと相当なグルメに  
違いありません。  
朝からね、  
美味しいものばっか  
探してねえ。  
プブ。



A-64794-86-BE

『花とマイマイ』

ゆっくり。あの花へ。  
ゆっくり。その花へ。  
この季節が終わるまで  
アナタはいつ花々を  
旅することが  
出来るでしょう。  
ゆっくり。  
まだまだ花たちは  
美しくそこに。



A-64793-86-B

『花とアリンコ』

ワタシの足下の小さくて可愛い花。  
アリンコの頭上の大きくて大胆な花。  
花たちの足下の小さくて  
くすぐったいアリンコ。  
花たちの頭上の大きくて  
じっと見つめるワタシ。  
ワタシたちがまた全員  
ココで揃える時は  
来るんだろか。  
ワタシはふいに  
今を抱きしめる。



A-64795-86-SP

『花とオカイコ』

ふわふわふんわりのカワイイ子。  
モグモグとたくさん食べて  
スヤスヤスヤリと眠ってね...  
やがて目覚めたカワイイ子。  
白い天使になっていて  
大きな黒い瞳でさ  
ゆっくりと  
この世界を見渡してね...  
そうしてそのカワイイ子は。  
また次の命を  
ココに残そうと  
フリテクテクと  
動き出したとき。



A-65532-86-PAP

『花とカエル』

ビョヨヨン。  
ビョヨヨン。  
ドコかを目指して  
そのチビちゃんは何度も何度も  
跳んでいました。  
ビョヨヨン。  
ビョヨヨヨン。  
ドコかってドコ?  
シアワセの国ですか?



A-65533-86-Y

『花とカゲロウ』

澄んだ水辺をスゥイスゥイ。  
カゲロウはひとり飛んでいます。  
時々、小さいけれど  
美しい花にとまっては  
優しい溜め息を  
ついていました。  
きっとカゲロウのココロは  
美しく優しい澄んだ  
ココロなのでしょう。  
スゥイスゥイ。



A-65534-86-G

『アルマジロと団子虫』

「コロコロまるまっちゃってさ、  
これじゃあちっとも  
食べられないよ。」  
だって。  
アルマジロが  
コロコロぼやく  
屋下がり。



A-65934-86-GY

『カラスと針金ハンガー』

針金ハンガーは  
人類最大の発明だって  
そうカラスたちは云ってた。  
もう少し気前よく  
お裾分けしてくれたら  
地球生物評判の上位に  
ランクされるように  
推薦してあげても  
いいんだって。



A-65933-86-BE

『コモドラゴンと花』

ドスリドスリと音たてて  
コモドラゴンは大地を歩く。  
コワイコワイとみんなは彼を避けるけど  
彼のいちばん好きなモノ知ってる?  
それはそれは可愛い  
ピンクの花の色だって。  
今日もその樹のところに  
やって来て、  
でねペロロと  
花にキスをして。  
この世でいちばん  
幸せだって目をしたよ。  
ねえステキな子でしょ?



A-65932-86-B

『ドードーと木の実』

タンバラココの大きな木は思いました。  
あのズングリとした奇妙で可愛い鳥は  
一体どこに行っちゃったんだろう?  
ボクが実だった時にさ、  
アイツに食べられちゃったワケだけれども、  
アイツのお腹を通ったボクはなぜかすっかり  
元氣満々になったんだ。  
元氣に芽を出してさ、  
今やこんな大木になった。  
だからボクはお礼に  
たくさんの実をつけて  
アイツを待っている。  
それから300年以上  
経ったワケだけれど、  
アイツはさっぱり姿を  
見せやしない。  
きっともっと楽しい世界に  
行っちゃったんだな。



A-67261-86-P

『ウサギと白詰草』

春になって、ウサギはほんとうに  
嬉しくなっていました。  
大好きな大好きな白詰草が  
これでもかというほど生まれ咲き、  
食べてもいいよ、  
髪飾りにしてもいいよ、と  
揺れて話しかけてくるのです。  
ウサギは。  
しばらくそのフサフサした  
緑の絨毯を眺めてから、  
一本の四つ葉を  
見つけたでもぎました。  
そうして、  
ワタシは幸せなんだなあと  
深呼吸しました。



A-67263-86-G

『ワニと蝶々』

静かに澄んだ池があって、  
大きなワニが暮らしておりました。  
池には蓮の花がユタユタと揺れていて  
なんとも甘い芳香に包まれているのです。  
ワニはその匂いを  
嗅ぐのが好きでしたけれど  
もっと好きなのは  
運に集まってくる蝶々の  
旅の話を聴くことでした。  
此処ではない処の  
ステキな話をステキな此処で  
聴くという贅沢。  
うん、  
なんて愉しいことでしょう。



A-67262-86-KON